

第5次生涯学習大阪計画 ～つながり、支え合い、共に育つ 大阪市の生涯学習～

「つながり、支え合い、共に育つ生涯学習」の推進

基本理念

多様な全ての市民一人一人が、誰一人取り残されることがなく、その生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所で自らに適した手段や方法で学ぶことができ、心豊かな人生を送ることができること。また、「市民力」を身につけ、学びや活動の成果を生かすことにより、ひとやまちとつながり、支え合い、共に成長していくこと。

計画の位置づけ

- ・大阪市の生涯学習に関連する施策全体を体系的に網羅する計画
- ・大阪市の教育の大綱である「大阪市教育振興基本計画」における生涯学習施策と理念を共有
- ・本計画及び関連する大阪市の他の計画等に掲げる施策や事業の実施にあたっては、めざすべき方向を共有しながら相互に協力・連携し、全庁的・分野横断的な視点から効果的に推進

計画期間

令和8年(2026)年度～令和11(2029)年度までの4年間

誰もが主体的に学び続け社会に参画できるまち

- ・「誰一人取り残さない」生涯学習社会の実現に向け、多様性(ダイバーシティ)と包摂性(インクルージョン)の観点に基づき、全ての人の人権が尊重される社会の形成をめざす
- ・人生100年時代において、全ての人がどのライフステージにおいても、主体的に学び続け、心豊かな人生を送ることができる社会をめざす
- ・子どもたちが主体的に学びに向かう意欲を、学校と地域、多様な主体の連携・協働により社会総がかりで育む
- ・市民一人一人が主体的に考え、他者と協調しつつ適切に対処できる「市民力」の育成を図る

多様な市民が支え合い共に生きるまち

- ・教育コミュニティづくりを一層充実させ、地域と学校の協働を推進する
- ・他者と緩やかにつながり、支えあい、安心できる居場所づくりを進め、「支えられる側が、支える側へ」つながるような循環を促進し、多様な主体の連携・協働によるつながりづくり、「新しい公共」を担う人づくりを進める

めざすべき未来像

- ◆「識字・日本語教室等に参加することでより暮らしやすくなった」と回答する参加者の割合【参加者アンケート】

→令和11(2029)年度 95.0%

- ◆「生涯学習センターの講座等をきっかけに、様々な学習や活動につなげたいと思うか。」に対して肯定的に回答する参加者の割合【参加者アンケート】

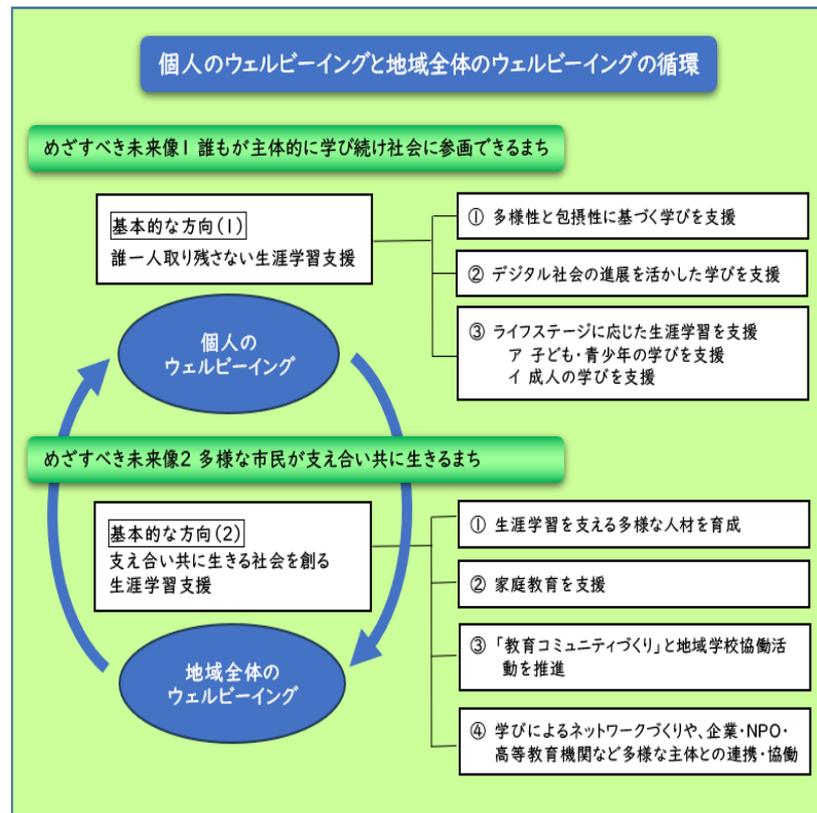
→令和11(2029)年度 90.0%

- ◆「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか。」に対して肯定的に回答する小中学校の割合【全国学力・学習状況調査】

→令和11(2029)年度 小学校95.0% 中学校90.0%

最重要目標

施策体系



計画推進体制等

- ・区役所・関係部局等はもちろんのこと、学校園、家庭、地域団体、NPO、企業等が、「生涯学習大阪計画」の理念を共有し、ネットワークや連携の仕組みを強化しながら、社会全体で、生涯学習活動が推進されるよう取組を進める
- ・「生涯学習大阪計画」プロジェクト会議や、多文化共生施策推進本部等の庁内組織を積極的に活用し、区役所・関係部局等の連携や協働を一層進める
- ・「生涯学習大阪計画」に掲げる成果指標の進捗状況を、社会教育委員会議に報告し、助言を得ることで、計画の進捗の改善につなげる

(1) 誰一人取り残さない生涯学習支援

多様な当事者が対等な構成員として主体的に参画でき、人権が尊重される社会の形成に向け、「誰一人取り残さない」生涯学習をめざす

人生100年時代を生き抜くため、誰もが学ぶことを通して社会参画し、自分らしさや自らの力を発揮できるよう、生涯を通して学び続ける力や「市民力」を育成する

誰もが、いつでも、どこでも、学びたいことを学べるよう、学習機会や情報提供の充実を図る

個人の
ウェルビーイング

①
多様性と包摂性
に基づく学びを
支援

- ・識字・日本語学習の機会や場の充実
- ・障がいのある人への学びの支援
- ・様々な人権課題・社会的課題についての学びや交流の機会の提供

目標値	「識字・日本語教室等に参加することで、より暮らしやすくなった」と回答する参加者の割合
令和11(2029)年度	95.0%

②
デジタル社会の
進展を活かした
学びを支援

- ・デジタルデバイドの解消に向けたデジタルリテラシー・ネットリテラシーの向上
- ・ソーシャルメディアの活用等による生涯学習情報の提供
- ・子どもたちの情報モラルの育成

目標値	生涯学習センターにおけるデジタルリテラシー・ネットリテラシーの向上につながる講座等で「学んだ内容や関係するテーマなどについて、知識・理解が深まったと思うか。」に対して肯定的に回答する参加者の割合
令和11(2029)年度	90.0%

③
ライフステージに
応じた生涯学習
を支援

ア 子ども・青少年の学びを支援

- ・多様な体験活動や読書活動等を通した「学びに向かう力」や社会・地域への参加意識の育成

イ 成人の学びを支援

- ・学び直しのための学習機会の提供
- ・自己実現や生きがいづくりに向けた学びの充実
- ・生涯にわたって学び続け、地域や社会参加につながる「市民力」の育成
- ・学びたい人が、学びたいと思ったときに情報を得ることができるよう、講座やイベントなどの情報を発信

目標値	「学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日当たりどのくらいの時間、読書を読みますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く。)」に対して「読書を全くしない」と回答する児童生徒の割合
令和11(2029)年度	小学校 29.0%以下 中学校 42.0%以下

目標値	「生涯学習センターの講座等をきっかけに、様々な学習や活動につなげたいと思うか。」に対して肯定的に回答する参加者の割合
令和11(2029)年度	90.0%

(2) 支え合い共に生きる社会を創る
生涯学習支援

- 学びを通して、他者と緩やかにつながり、安心できる居場所づくりを進めるとともに、他者と対話しながら様々な課題への解決策を見いだせるまちづくりをめざす

- 「新しい公共」を担う人材を育成する

- 家庭教育を支援する

- 地域と学校の連携・協働を一層推進する

- 多様な主体のネットワーク形成に向けた連携・協働を推進する

地域全体の
ウェルビーイング

①
生涯学習を支える
多様な人材を育成

- ・研修等を通して、活動の中で「楽しみ」や「やりがい」が持てる環境整備
- ・SNSを活用した情報発信、デジタルを活用した地域での活動事例の共有等

目標値	生涯学習センターにおける生涯学習推進員研修等で、「今後のボランティア活動やグループ・地域活動に、学んだことを活かしたいと思うか。」に対して肯定的に回答する参加者の割合
令和11(2029)年度	90.0%

②
家庭教育を支援

- ・様々なニーズに対応した学習や体験の機会、保護者同士の交流・情報交換の場の提供、家庭教育に関する啓発

目標値	大阪市教育委員会「親力アップサイト」アクセス件数
令和11(2029)年度	9,513件

③
「教育コミュニティ
づくり」と地域学
校協働活動を推進

- ・研修や情報交換の機会の充実を通じた人材の育成および地域学校協働活動等への理解促進
- ・「はぐくみネット」「学校元気アップ地域本部」等、地域学校協働活動の充実・連携
- ・生涯学習ルーム事業等における様々な学習の成果を学校や地域に還元する取組の充実

目標値	「コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか。」に対して肯定的に回答する小中学校の割合
令和11(2029)年度	小学校 95.0% 中学校 90.0%

④
学びによるネット
ワークづくりや、企
業・NPO・高等教育
機関など多様な主
体との連携・協働

- ・企業・NPO・高等教育機関などが、生涯学習の担い手としてより主体的に関わることのできる仕組みの構築と取組の推進

目標値	企業・NPO・高等教育機関など生涯学習の連携・協力団体の数
令和11(2029)年度	40件